

山形県の古木・名木 No.91

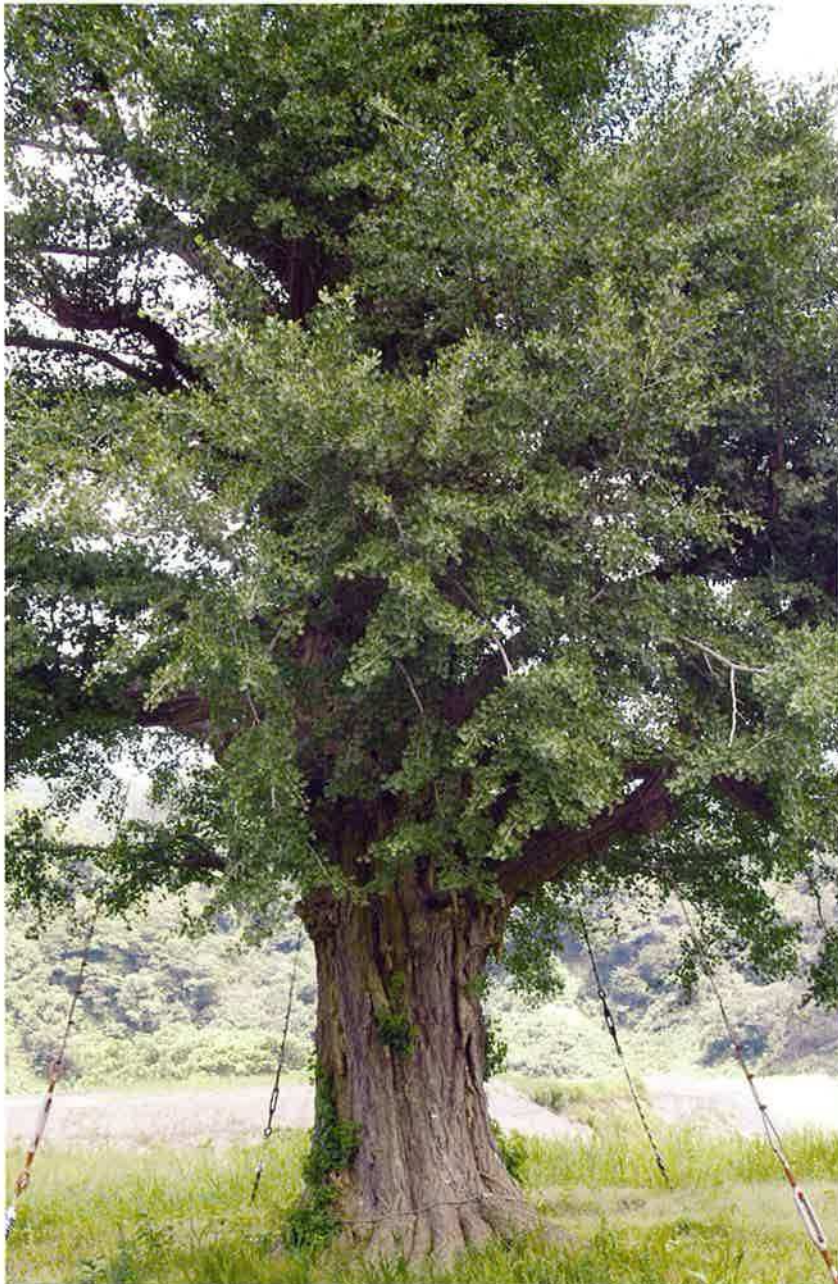
飛泉寺のイチョウ (ひせんじのいちょう)

西置賜郡小国町市野々

小国町の市野々地区には、樹齢二百年を超える「飛泉寺のイチョウ」(昭和57年3月31日 町指定天然記念物)があり、旧越後街道の宿場町だった市野々の象徴ともなっていた。このイチョウは、横川ダム湖に沈む予定地にあったが、地元民の救済要望を受けた横川ダム工事事務所が移転作業に取り組み、平成18年に重さ三百トンの巨木を水平距離100m、高低差9.3mの高台への移設が無事終了した。高さ25m、根元幹周り9m、枝張りが東西25m、南北25mの堂々たる姿のこの「飛泉寺のイチョウ」は、これからも地域のシンボルとして大事に守り育てられていくでしょう。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた116号(2008年7月)記載】